

主学態：自己評価（態度目標）を通して、知識・技術の向上に向けた「学び方」を自己調整しようとしているか。

態度目標	5 · 4	3 · 2	1	総合評価（平均）
話す	伝わる工夫をした	説明ができた	説明をしていない	
聴く	うなずき・相づちが適切	うなずきが適切	うなずきができなかった	
※協力する	とても貢献した	貢献した	貢献ができなかった	

※協力する…チームのメンバーに教えた、提案できた、質問した、励ましたなどチームにとってプラスの取り組みが行えたか。

NO	日付	話す	聴く	協力する	挑戦結果・次回挑戦	相互コメント
例)	4/9(月)	2	1	2	全くうなずけなかった。次回、話し手にうなずきの思いやりを返してみよう。	※人格否定、他人との比較コメントはNG。プラスのコメントを返す。
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

授業日【 】月【 】日【 】曜日【 】限目

ビジネス実務
33HR(PC室)

学期

授業内容

評価方法

主学態をみとる場面を工夫してA(十分満足できる)、C(努力を要する)を記録し、評価理由をメモ欄に記入する。

また、「自己評価表」と「相互評価」を評価物の参考にする。

A:意欲的な発言や意見の交換を行うなど、主体的かつ協働的に活動しようとしている。

B:協働的に活動しようとしている。

C:Bに満たない。

メモ	メモ
A・B・C	A・B・C
メモ	メモ
A・B・C	A・B・C

メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

メモ	メモ	メモ
A・B・C	A・B・C	A・B・C

教 卓

学期の振り返り

科目名

学期

月 日 曜日提出×切

HR 番

氏名

条件: 200字以内。記述型は、【結論→理由→具体例】

1. 学習を振り返って一番興味を持った内容を具体的に記入しなさい。

0

2. 理解を深めるための工夫はどのように行ったか、具体的に記入しなさい。

0

3. 今後ビジネスのどのような場面でどのように生かすこと(問題解決)ができるか、具体的に記入しなさい。

0

4. 今後、授業に対してどのように取り組むか改善点を考え、具体的に記入しなさい。

0

評価観点	A(十分に満足) <input type="checkbox"/>	B(おおむね満足) <input type="checkbox"/>	C(努力を要する) <input type="checkbox"/>
思考・判断・表現	B+具体的に説得的に記入できている。	学習内容を活用して記入できている。	Bに満たない
評価観点	A(十分に満足) <input type="checkbox"/>	B(おおむね満足) <input type="checkbox"/>	C(努力を要する) <input type="checkbox"/>
主体的に学習に取り組む態度	B+適切な文章量と具体的な記述があり、次への学びへと行動している。	学習態度と学習内容の振り返りができる。	Bに満たない